

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年 4月 30日

団体名 太陽の手のひら

代表者 天道智章

構成員 12 人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

・市内だけでなく、市内外からの参加者を募り、健全な地域活動を通して、互いに理解を深め、交流する機会を広げていく。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
令和7年7月	矢作圃場	地域の市民、子どもたち	15人	農業体験、収穫体験
月1回~2回	愛知、岐阜、三重、静岡	東海地方全域のサイクリスト	5人~20人 (1回あたり)	東海地方のサイクリングイベント
月1回	世界子供美術博物館	岡崎市民	7人~10人 (1回あたり)	陶芸教室
月数回	岡崎市内	地域の子どもたち	2人~10人 (1回あたり)	鬼ごっこや駆けっこなど、地域の子どもたちと遊ぶ
毎週	藤川子ども食堂	地域の子どもたちと保護者	10人~20人 (1回あたり)	地域の子どもたちや保護者たちが様々な習い事や食事を通して交流

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

地域の人々の健康の増進、精神的な支えになり、笑顔の輪を広げていくことができました。

毎月、継続的に多くの体験型のアクティビティや、イベントを開催して、多くの人々が感動と笑いを共有しました。

室外のサイクリングイベントでは、地域の多くの実店舗に立ち寄り、史跡をめぐり、歴史と文化を学び、たくさんの方々の絶景も眺めに行きました。

また、子ども食堂での習い事、食事会を通して地域の人々が気軽に集まり、交流して助け合う地域活動のサポートを行い、地域の人々の繋がりや、コミュニティの形成に貢献しました。

1人でも多くの孤食を無くす為、そして1人でも多くの人の心の拠り所となれる居場所づくりをしていく中で、利他的に支えあい地域社会全体を活性化していけるような活動を地道に続けていきたいと考えています。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

地域の子どもたちや、大人たちの明るい未来を守り、育てる活動に寄与し、そして地域社会が互いに助け合い、発展しあうための活動を行いました。

市の活動や市民や企業、ショップの協力関係をつないで活性化するために、様々な取り組みに従事しました。